

ナイスケアだより

第111号

令和3年8月発行

東京オリンピックが8日に閉会となりました。コロナ禍の開催となり賛否が問われる大会でしたが、大きな事故や問題もなく無事に行うことができたのは良かったです。

今回のオリンピックでは特に注目していた選手がいました。陸上競技の女子1500mに出場したト部蘭選手です。ト部蘭選手のお父さんは、私の高校時代の2年上の駅伝部キャプテンで憧れの先輩です。ト部蘭選手は新宿区出身ということもあり、中学校時代に戸山公園でストップウォッチを手で持ちながら一生懸命練習している姿をよく見かけました。都会の人混みの多い練習環境で毎日何週もコースを走って努力しているト部蘭選手を見て、将来が楽しみだと感じていました。高校、大学と全国大会で着実に活躍し、世界の舞台に繋がったのも子供の頃からの日々の地道な努力が実を結んだと思います。

今回のオリンピックは予選9位で決勝には進めませんでした。4分7秒で日本歴代3位の好タイムと健闘をしました。大舞台で自己ベストを出せるのは本当にすごいことです。今後はオリンピックの経験をもとに世界基準の走りで更なる活躍を期待したいです。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～オニヤンマ～

私は山歩きが好きで、月に2、3回程出かけています。苔や木肌に触れたり滝のしぶきを浴びたりすると気持ちが安らぎます。

季節を選ばずに山歩きをしますが、飛ぶ虫が苦手です。身体に留まられると、刺さない虫であっても緊張してしまうので、荷物には『虫除けスプレー』は欠かせません。スタート前に頭から体にまんべんなく振り掛けますが、しばらくすると『ブーン』という羽音につきまとわれ、落ち着いて休憩もできなくなり、エネルギー補給もそこに歩き始めることになります。

そんな山歩きですが、先日同行していた先輩から『オニヤンマを頭につけると、虫が近寄ってこないんだよ』と聞きました。トンボは飛んでいる虫を捕食しますが、時には蜂をも捕食します。この習性を他の虫たちは知っているから近寄ってこないのだそうです。『だから、オニヤンマの模型が通信販売で売られていて、結構売れてるんだって』と先輩は言います。我々後輩は『え～、本当ですか？』『模型じゃばれちゃうでしょう』と笑って、頭にオニヤンマを取り付けた自分達をイメージして『すごく変だよ』とっていました。

オニヤンマの模型のお話は冗談なのでしょうか、それとも本当の話なのでしょうか。トンボ博士がいらっしゃいましたら、ぜひ答えと解説をお願いします。

高木 裕子